



2021年6月29日

各 位

会 社 名 株式会社レオパレス21
代 表 者 名 代表取締役社長 宮尾 文也
(コード番号 8848 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 竹倉 慎二
(TEL 050-2016-2907)

債務超過の猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、2021年3月期において債務超過となったことから、本日の株式会社東京証券取引所の発表の通り、有価証券上場規程第601条第1項第5号の規定に基づき、上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

2. 債務超過に至った経緯

当社は、2018年4月に判明した施工不備問題により、2019年3月期連結会計年度は68,662百万円の純損失、2020年3月期連結会計年度は80,224百万円の純損失を計上いたしました。2020年3月期に全棟調査を完了させ改修工事並びに募集再開を進めてきたことにより業績は回復基調に転じたことから、2021年3月期は黒字転換を見込んでおりました。

また、2020年11月2日付で第三者割当増資、新株予約権付ローンによる資金調達並びに連結子会社である株式会社レオパレス・パワーにおける優先株式の発行を実施し、合計57,215百万円の資金を調達、11,999百万円を株主資本に充当することで、財務体質改善を図りました。

詳細は、2020年11月2日付「第三者割当による新株式の発行及び新株予約権付ローンに係る第5回新株予約権の発行に係る払込完了並びに連結子会社による優先株式の発行に係る払込完了に関するお知らせ」をご覧ください。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続し、当社の賃貸事業の主要顧客である法人企業の異動抑制や個人の学生を始めとする単身顧客や外国籍の方の新規入居が低迷いたしました。これらの影響等により、2021年3月期連結会計年度においては、売上が著しく減少する中で、各段階利益が大きく悪化いたしました。

詳細は、「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の添付資料「1. 経営成績等の概況」並びに「2021年3月期プレゼンテーション資料」をご覧ください。

以上の結果、2021年3月期連結会計年度において、経常損失34,170百万円を計上し、同会計年度末においては8,494百万円の債務超過となりました。

3. 猶予期間

2021年4月1日から2023年3月31日

(注) 株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程等の一部改正により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により債務超過の状態となった場合、上場廃止までの猶予期間を1年から2年に延長されております。

4. 今後の見通し

当社は、2020年4月30日付「抜本的な事業戦略の再構築」及び2021年5月14日付「債務超過解消に向けた取り組みについて」で掲げた方針を継続し、選択と集中により中核事業である貸付事業に経営資源を投入するとともに2021年3月期から実施しております抜本的な体質改善のための構造改革を継続し、事業面及び財務面での安定化を図ることで持続的な収支の改善を図り、当該状況の解消・改善に努めてまいります。

以上